

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ドリーム・オン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ドリーム・オン**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

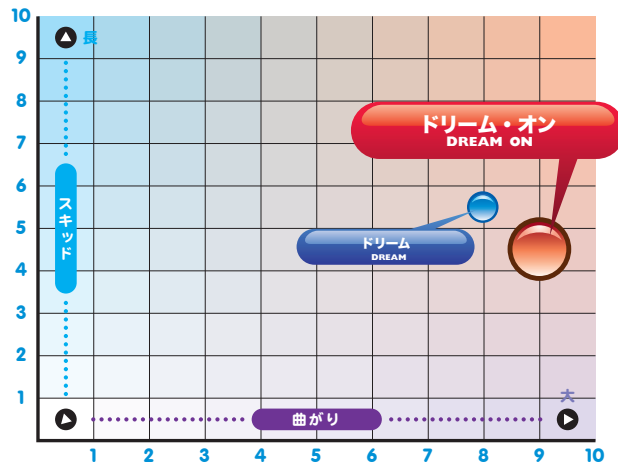
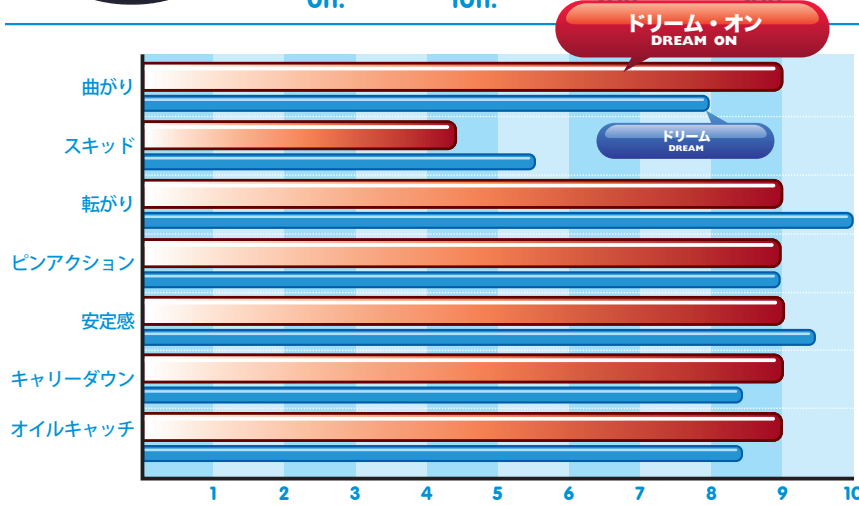
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：ドリーム**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



### ボールの評価

今年7月にABSは900GLOBAL社と販売代理店契約を結び、約半年弱様々なボールがリリースされました。そのボールは見事に各々特徴のあるキャッチ力・リアクション性能を提供されていると思います。今回紹介するDREAM ONのパフォーマンスを試したとき、まだまだ底知れぬ900GLOBAL社の実力を感じるようになるでしょう。

DREAM ONはDREAMの後継ですが、DREAMの74 Response™ Pearl Coverstock、1500 Grit, Polished仕上げからDREAM ONは74 Response™ Hybrid Coverstock、400Pad仕上げに変更されました。

コアテクノロジーはIdentity™ Asymmetric coreを数値を変えずにそのまま採用しています。DREAM ONとDREAMを比較してみるとPearl主体のカバーからHybirdした変化はミッドエリアのキャッチ力の違いに大きく表れ、Identityコア特有の手から離れた瞬間から良く転がる特性のコアと相乗して、オイルの多いコンディションや曲がり初めの安定感を求めるポウラーにはまたとない武器になります。

またミッドエリアでキャッチが強く感じて曲がり終わるどころか、しっかりと軸移動が完了しフィニッシュするイメージがレベルの違いを感じます。

DREAMを投球して、そのイメージのままさらさらオイルに強い性能を求めるポウラーやミッドエリアで安定したキャッチ感を得たいポウラーにはこのボールを是非使用してください。DREAMは発売以降、安定したキャッチ力と信頼のおけるパフォーマンス、ピンアクションに至るまでの総合的評価が高く、契約プロによるトーナメント使用率も非常に高いボールです。このDREAM ONもきっとトーナメントの一線で活躍するボールとなるでしょう。

### 特記事項

**今度のDREAM ONは良く転がるコアHybridカバーストックの組み合わせ。ミッドエリアで強いキャッチ力を出しますが、曲がり終わらずに強烈にピンをたたくのが真骨頂です!**